

100年後まで守りたい — 私たちの地域に受け継がれる宝物 —

3年総合的な学習の時間 2月 90Q〈30時間〉
附属新潟小学校 教諭 志田 倫明

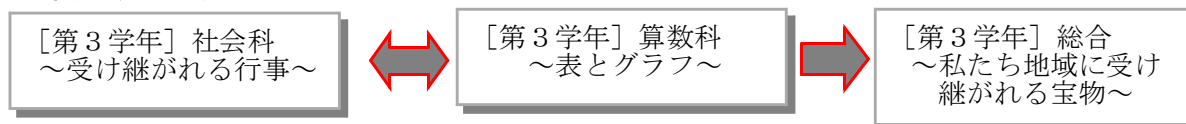
1 本単元で目指す姿

数値を基にした事実と自他の思いとを関連付けて、取り組むべき課題を設定する子ども
 具体的には、「伝統を受け継ぎ未来につなげるために、万代太鼓の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。調査結果から分かる問題と受け継いできた人たちや地域の人たちの気持ちを考えると〇〇（伝える相手）に□□という方法で伝えていくべきだ」と、数値データを根拠にして自分の取り組むべき課題を設定する姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
総合的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○探究的な学習を通して獲得する学習対象に関する知識 ○問題状況の中から、課題を発見し、設定する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題を立てる力 ○信頼性を高めるために、事実を比較したり関連付けたりして整理・分析する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究的な課題解決の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする態度 ○課題の解決に向けて探究活動に協働的に取り組もうとする態度
社会科		<ul style="list-style-type: none"> ○社会にみられる課題を把握して、解決に向けて学習したことを基に社会へのかかわり方を選択・判断する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の一員として、持続可能な社会の実現に向けて、よりよく課題を解決しようとする態度
算数科	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフや表の読み方やかき方に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の数理的にとらえ、見通しをもち筋道を立てて考察する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数の学習を生活や学習に活用しようとする態度

3 関連する学習



4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
1 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の祭や新潟まつりを知る。 ・ 私たちの地域には、様々な祭があるんだな。 ・ 新潟まつりでは太鼓が演奏される。 ○ 万代太鼓について知る。 ・ 太鼓は、実際に聞くと、すごく大きな音だ。やってみると楽しいな。 ・ 万代太鼓は多くの人を受け継いできたんだ。 <p style="text-align: right;">☆社会科②③</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 私たちの地域にある祭には、人々の願いが込められていて、地域の人たちによって大切に受け継がれている。もっと太鼓の演奏をしてみたいな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住んでいる地域にある祭について調べさせる。それぞれ調べたことを交流させる。 ◆ 新潟まつりの映像を見せ、どこでどのようなことが行われているか、地図にまとめさせる。 ◆ それぞれ専門家を招き、詳細な説明を聞かせたり、体験させたりする。 <p>万代太鼓：新潟万代太鼓華龍 田村さん 新潟甚句：新潟県民謡協会</p>	30 Q 10 時間

- 万代太鼓の現状を知り、学級共通の課題を設定する。
 - ・見たこともない人が多いのは残念。
 - ・太鼓の演奏に取り組む人は、なかなか増えないんだな。
 - ・知らない人が増えると、万代太鼓が受け継がれなくてなくなるかも。

○ 万代太鼓も笹団子のように100年後まで残したい。 ☆総合③

地域で大切に受け継がれてきた万代太鼓を100年後まで守ろう。(学習課題)

- 調査の方法を考える。
 - ・万代に住んでいる人は知っている。
 - ・若い人がいいと思う。笹団子みたいにお年寄りには知っていると思う。
 - ・また、調査して表にまとめればはつきりするよ。 ☆算数科③
 - ・どんなことを聞けばいいかな。

○ 太鼓をどのくらい知っているか、調査をしよう。 ☆総合①③

- 調査結果を分析し、適切な発信対象を決める。
 - ・年代別、地域別などに分けて集計すればいい。 ☆算数科①② ☆協働性
 - ・地域ごとに分けると、古町の人とそれ以外の人で違いが分かるかも。

○ データを基に考えると、まずは○○の人たちに伝えよう。 ☆総合②

- 伝える相手にどのように伝えたらいいか考える。
 - ・全員を太鼓の演奏を見たと言わせたい。演奏会を開いたらどうかな。
 - ・太鼓の歴史についても、分かってもらいたい。パンフレットにして、伝えれば意味が伝えられる。
 - ・太鼓の先生に教えてもらって、もっと曲を覚えてから発表した方がいい。 ☆協働性 ☆ツール活用能力

○ うまくいきそうな方法が見つかった万代太鼓の魅力を知ってもらうためにもっと太鼓の練習をしよう ☆総合③

- 準備をし、活動に取り組む。
 - ・しっかり練習して伝えに行こう。
 - ・うまく伝えられてよかった。
 - ・まだ、伝わっていないこともある。

○ 取組を改善して、もっと多くの人に太鼓のことを伝えにいきたい ☆総合③

- 2回の活動を振り返り、これから取り組んで行きたいことを考える。
 - ・学習が終わっても太鼓を演奏したいし新潟まつりにも行きたい ☆総合③

- ◆ 伝統芸能に対する願いと、そこに至っていない現状について、専門家の話を聞かせ、これから学習していきたいことを問う。 【働き掛け1】

- ◆ 専門家から万代太鼓普及のための取組を話してもらおう。

- ◆ 太鼓の魅力を伝える相手を問い、判断するための方法を問う。 【働き掛け2】

- ◆ 子どもたちが感じている太鼓の魅力を振り返らせ、調査項目を考えさせる。

- ◆ 調査の結果を集計して提示し、伝える相手を問う。 【働き掛け3】

- ◆ 分析するために必要な集計の方法を問う。

- ◆ 目標に至っていない現状の要因を予想させ、目標達成のための方策とその理由を問う。 【働き掛け4】

- ◆ 数値の低い項目についてその要因を問い予想させる。

- ◆ ホワイトボードを使って、グループで方法を話し合わせる。

- ◆ 1回目の取組の結果を集計して数値化させ、これからの取組の内容と方法を問う。 【働き掛け5】

- ◆ 1回目と2回目の活動の結果の変容とその理由を考えさせ、これから取り組んでいきたいことを問う。 【働き掛け6】